(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)公開番号
特開2022-11463
(P2022-11463A)
(43)公開日　令和4年1月17日(2022.1.17)

(51)国際特許分類	ＦＩ			テーマコード（参考）
Ａ６３Ｆ　7/02 (2006.01)	Ａ６３Ｆ	7/02	３０４Ｄ	２Ｃ０８８
	Ａ６３Ｆ	7/02	３２６Ｄ	

審査請求　未請求　請求項の数　１　ＯＬ　（全13頁）

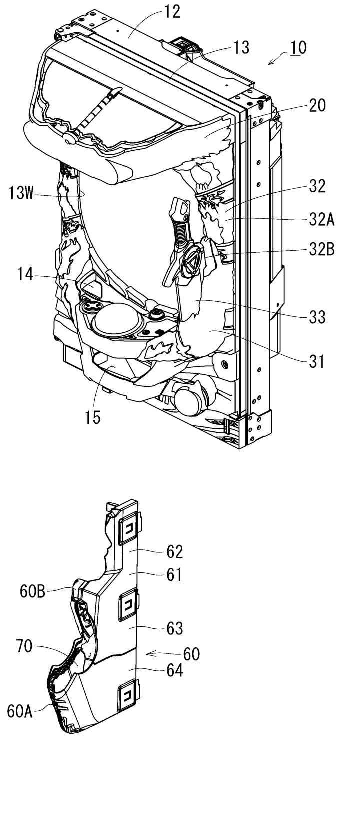
(21)出願番号　特願2020-112621(P2020-112621)
(22)出願日　令和2年6月30日(2020.6.30)

(71)出願人　599104196
株式会社サンセイアールアンドディ
愛知県名古屋市中区丸の内２丁目１１番１３号
(74)代理人　100112472
弁理士　松浦 弘
(74)代理人　100202223
弁理士　軸見 可奈子
(72)発明者　小川 慎也
愛知県名古屋市中区丸の内二丁目１１番１３号 株式会社サンセイアールアンドディ内

Ｆターム（参考）　2C088　BC25 EA07 EB78

(54)【発明の名称】　遊技機

(57)【要約】
【課題】遊技機の外観の印象を容易に変更することが求められている。
【解決手段】本開示の遊技機１０では、前面扉１３の右側辺部に取り付けられた可動役物ユニット３０に、装飾カバー６０が取り付けられる。装飾カバー６０は、可動役物ユニット３０に右側（外側）から重なる外側カバー部６１と、可動役物ユニット３０に左側（内側）から重なる内側カバー部７０と、を有している。外側カバー部６１と内側カバー部７０とは共に可撓性を有する樹脂成形板であり、外側カバー部６１の後端部には、板金からなる固定具６５が取り付けられている。また、外側カバー部６１は着色されている一方、内側カバー部７０は透明になっている。
【選択図】図４



【特許請求の範囲】
【請求項１】
ベース部から突出する装飾突出部を備える遊技機であって、
前記装飾突出部の外面の少なくとも一部を覆う装飾カバーを備える遊技機。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本開示は、遊技機に関する。
【背景技術】
【０００２】
従来、この種の遊技機として、装飾が施されている遊技機が知られている（例えば、特許文献１参照）。
【先行技術文献】
【特許文献】
【０００３】
【特許文献１】特開２０１６－２０９７１１号公報（図２等）
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００４】
上述した従来の遊技機においては、外観の印象を容易に変更することが求められている。
【課題を解決するための手段】
【０００５】
本開示の遊技機は、ベース部から突出する装飾突出部を備える遊技機であって、前記装飾突出部の外面の少なくとも一部を覆う装飾カバーを備える遊技機である。
【発明の効果】
【０００６】
本開示に係る遊技機によれば、装飾カバーを取り付けることにより外観の印象を容易に変更することが可能となる。
【図面の簡単な説明】
【０００７】
【図１】本開示に係る遊技機の斜視図
【図２】上部役物構成部の概要図
【図３】可動役物ユニットの側面図
【図４】装飾カバーと遊技機との斜視図
【図５】装飾カバーと遊技機との斜視図
【図６】装飾カバーの斜視図
【図７】装飾カバーの斜視図
【図８】装飾カバーの側面図
【図９】装飾カバーの下面図
【図１０】装飾カバーの背面図
【図１１】装飾カバーの断面図
【発明を実施するための形態】
【０００８】
以下、図１～図１１を参照して、本開示のパチンコ遊技機１０（以下、「遊技機１０」という。）について説明する。以下の説明において遊技機１０のうち遊技者に近い側を「前側」、その反対側を「後側」といい、遊技機１０のうち、その前側から対峙した遊技者にとっての「右側」及び「左側」を単に「右側」及び「左側」ということとする。
【０００９】
図１に示すように、本実施形態の遊技機１０は、遊技盤１１と、遊技盤１１を支持する支持枠１２と、その支持枠１２の前面を覆う前面扉１３とを有し、前面扉１３の窓部１３Ｗ

を通して遊技盤１１の前面に形成された遊技領域Ｒ１が視認可能になっている。

【００１０】

遊技領域Ｒ１には、図示しない始動入賞口と大入賞口が備えられ、始動入賞口に遊技球が入球すると当否判定が行われる。当否判定の結果は、遊技領域Ｒ１に設けられた表示部（図示せず）にて、その結果に基づいた演出と共に表示される。大入賞口は、通常は、可動扉等で閉塞されて遊技球が入球困難な状態になっていて、上記当否判定の結果が当りとなったときに開放されて遊技球が入球可能な状態となる。

【００１１】

前面扉１３は、前方から見ると支持枠１２の前面略全体を覆う縦長の矩形状をなし、支持枠１２と左辺部同士をヒンジ結合されている。前面扉１３は、通常時は支持枠１２に重ねられた状態（閉じた状態）で右下の施錠部１０Ｋにて施錠されている。前面扉１３の窓部１３Ｗは、前面扉１３に形成された開口１３Ａに後面側からアクリル板やガラス板などの透光板１３Ｂを重ねて固定することにより構成される。

【００１２】

前面扉１３のうち窓部１３Ｗより下方には、上皿１４及び下皿１５が上下に並べて設けられると共に、下皿１５の右方に操作ノブ１６が設けられている。操作ノブ１６を回動操作すると、上皿１４に貯留された遊技球が遊技領域Ｒ１に向けて弾き出される。また、上述した始動入賞口及び大入賞口に遊技球が入球すると、賞球が上皿１４に払い出される。

【００１３】

図１及び図２に示すように、前面扉１３の上部には、前方に突出した上部役物構成部２０が備えられている。上部役物構成部２０は、上方に開放したケース部材２１に１対の可動役物２２を収容してなる。１対の可動役物２２は、左右横並びに配置され、それらの上端部同士がヒンジ２２Ｈを介して結合されている。１対の可動役物２２は、通常状態では、図２（Ａ）に示すように、ケース部材２１の上方開口を閉塞していて、特定の演出条件が成立したとき（例えば、上記当否判定が当りとなったとき等）に、ヒンジ２２Ｈを中心に上方に回転してケース部材２１の外側に突出し、図２（Ｂ）に示すように合体する。

【００１４】

図１に示すように、前面扉１３の右側辺部には、可動役物ユニット３０が取り付けられている。図３に示すように、可動役物ユニット３０は、固定ベース３１と、第１可動部材４０と、第２可動部材５０と、を備えている。第１可動部材４０と第２可動部材５０は共に、上下方向に沿って長くなった形状をなしている。そして、第１可動部材４０と第２可動部材５０は、その長手方向が鉛直方向に対して前側に若干傾斜するように設けられ、当該傾斜した方向に沿って移動する。図３（Ａ）に示すように、第１可動部材４０は、通常は、可動ストロークの最も下側に配置され、第２可動部材５０は、通常は、可動ストロークの最も下側に配置される。以下では、第１可動部材４０が最も下側に配置された位置を第１始端位置（図３（Ａ）に示す第１可動部材４０の位置）、最も上側に配置された位置を第１終端位置（図３（Ｂ），図３（Ｃ）に示す第１可動部材４０の位置）と称し、第２可動部材５０が最も下側に配置された位置を第２始端位置（図３（Ａ），図３（Ｂ）に示す第２可動部材５０の位置）、最も上側に配置された位置を第２終端位置（図３（Ｃ）に示す第２可動部材５０の位置）と称する。

【００１５】

図１及び図３に示すように、固定ベース３１は、前面扉１３に固定され、前面扉１３の右側辺部から前側に突出している。具体的には、図４及び図５に示すように、固定ベース３１は、左右方向で偏平になっていて、前面扉１３の右側辺部のうち上部役物構成部２０に隣接する位置から窓部１３Ｗの下端部近傍の高さまでに沿って延在する第１ケース部３２と、第１ケース部３２における下側部分から前側に迫り出した第２ケース部３３と、で構成されている。

【００１６】

第１ケース部３２は、上部役物構成部２０に隣接する位置から下方に延びた側縁装飾部３２Ａと、側縁装飾部３２Ａの下方に配され、側縁装飾部３２Ａよりも前方へ突出した突出

装飾部３２Ｂと、を備えている。図３に示すように、突出装飾部３２Ｂは、側縁装飾部３２Ａの下端部から下りながら前方へ延びた第１外縁部３２Ｂ１と、第１外縁部３２Ｂ１の前端から鉛直下方に延びた第２外縁部３２Ｂ２と、第２外縁部３２Ｂ２の下端から後方に戻りながら第２ケース部３３の上縁部まで下方に延びた第３外縁部３２Ｂ３と、を有している。この第１ケース部３２は、第１可動部材４０及び第２可動部材５０の後側に配置されて、第１可動部材４０及び第２可動部材５０を駆動するためのモータ等（図示せず）を収容する。

【００１７】

第２ケース部３３は、第１ケース部３２の第３外縁部３２Ｂ３の下端部から前方に延びた第１外縁部３３Ａと、第１外縁部３３Ａの前端から後方に戻りながら下方に延びた第２外縁部３３Ｂと、を有している。第２外縁部３３Ｂの下端部は、前面扉１３のうち窓部１３Ｗより下方部分へ連なっている。第２ケース部３３は、上側に開放した開口３３Ｋを上部に有し、第１始端位置に配置された第１可動部材４０の下側部分と第２始端位置に配置された第２可動部材５０の全体を収容する。なお、第２ケース部３３は、剣の鞘を象るように形成されている。

【００１８】

図３（Ｂ）に示すように、第１可動部材４０は、持ち手を上向きにした剣を象った形状をなして、剣の持ち手を象った第１装飾部４１と、剣の鍔を象った第２装飾部４２と、剣の刃を象った第３装飾部４３と、を備え、全体的に、左右方向で偏平になっている。図３（Ｃ）に示すように、第２可動部材５０は、第１可動部材４０の第３装飾部４３を外側から囲む扁平筒状に形成され、外面に剣の刃の一部を象った装飾が施されている。

【００１９】

第１可動部材４０及び第２可動部材５０は、第２可動部材５０が第１可動部材４０の第３装飾部４３を外側から囲んだ状態で、固定ベース３１の第２ケース部３３に収容されている。

【００２０】

これら第１可動部材４０及び第２可動部材５０は、常には、第１始端位置及び第２始端位置に配されている（図３（Ａ）参照）。即ち、常には、可動役物ユニット３０は、第１可動部材４０の第１装飾部４１と第２装飾部４２とのみが固定ベース３１の第２ケース部３３の外側に配された待機状態（剣が鞘に収まった状態）になっている。そして、特定の演出条件が成立したとき（例えば、上記当否判定が当りとなったとき等）に、図３（Ｂ）に示すように第１可動部材４０のみが第１終端位置に移動して、第１可動部材４０の第３装飾部４３が固定ベース３１の第２ケース部３３から飛び出した第１演出状態（剣が抜かれた状態）になったり、図３（Ｃ）に示すように第１可動部材４０及び第２可動部材５０が第１終端位置及び第２終端位置に移動して、第１可動部材４０の第３装飾部４３及び第２可動部材５０が固定ベース３１の第２ケース部３３から飛び出した第２演出状態になる。なお、第２演出状態では、第１可動部材４０の第３装飾部４３が第２可動部材５０により囲まれて、第１演出状態よりも太い剣が抜かれた状態となる。

【００２１】

また、本実施形態の遊技機１０では、第１可動部材４０は、モーター（図示せず）の駆動によって可動する可動演出部材としての役割だけでなく、遊技者によって操作される操作部材としての役割も担っている。本実施形態の例では、第１可動部材４０に対し、第１始端位置から第１終端位置側へ移動させる「引抜操作」と、第１終端位置から第１始端位置側へ移動させる「押込操作」の２種類の操作が行われる。なお、第１可動部材４０は、停止している状態では、モーター（図示せず）の励磁によって位置が固定されていて、第１可動部材４０の操作時にその励磁を解除するために第１可動部材４０の操作を検出する操作用センサ（図示せず）が設けられている。

【００２２】

ここで、図１及び図３に示すように、本実施形態の遊技機１０では、可動役物ユニット３０に、図６に示される装飾カバー６０が取り付けられている。装飾カバー６０は、可動役

物ユニット３０に右側（外側）から重なる外側カバー部６１と、可動役物ユニット３０に左側（内側）から重なる内側カバー部７０と、を有している。外側カバー部６１と内側カバー部７０とは共に可撓性を有する樹脂成形板であり、本実施形態では、外側カバー部６１は着色されている一方、内側カバー部７０は透明になっている。

【００２３】

図１、図４及び図６に示すように、外側カバー部６１は、固定ベース３１の右側面の全体を覆い、外側第１構成部６２と、外側第２構成部６３と、外側第３構成部６４と、を有している。詳細には、外側第１構成部６２は、固定ベース３１における第１ケース部３２のうち側縁装飾部３２Ａの右側面を覆い、外側第２構成部６３は、固定ベース３１の第１ケース部３２における突出装飾部３２Ｂのうち第２ケース部３３より上方部分の右側面を覆い、外側第３構成部６４は、固定ベース３１の第２ケース部３３と、第１ケース部３２のうち第２ケース部３３の後方部分と、を覆う。

【００２４】

図３、図５及び図７に示すように、内側カバー部７０は、固定ベース３１のうち第１ケース部３２の左側面の一部を覆う内側第１構成部７１と、第２ケース部３３の左側面の大半を覆う内側第２構成部７２と、を有している。内側第１構成部７１は、第１ケース部３２の左側面のうち突出装飾部３２Ｂの第１外縁部３２Ｂ１の前側部分から第３外縁部３２Ｂ３に沿って後下方に第１ケース部３２の後端部まで延びている。内側第２構成部７２は、内側第１構成部７１の下側部分の前方に配され、第２ケース部３３の第１外縁部３３Ａ及び第２外縁部３３Ｂに沿った第１外縁部７１Ａ及び第２外縁部７１Ｂを備え、第２ケース部３３の左側面のうち下端部以外の全体を覆う。

【００２５】

図６及び図７に示すように、外側カバー部６１と内側カバー部７０とは、前端同士が互いに近づくように湾曲してネジ止めにより固定されていて、装飾カバー６０は、全体的に、後方が開放した「Ｕ」字状をなしている。詳細には、装飾カバー６０は、外側カバー部６１の外側第３構成部６４の前端部と、内側カバー部７０の内側第２構成部７２の前端部と、が連結される下側連結部６０Ａと、外側カバー部６１の外側第２構成部６３の前側上端部と内側カバー部７０の内側第１構成部７１の上端部とが、連結される上側連結部６０Ｂと、を有している。また、装飾カバー６０には、下側連結部６０Ａと上側連結部６０Ｂとの間に、外側カバー部６１の外側第２構成部６３及び外側第３構成部６４の前側外縁と、内側カバー部７０の内側第１構成部７１及び内側第２構成部７２の前側外縁と、に囲まれたカバー開口６０Ｋが形成されている。また、図８に示すように、装飾カバー６０では、内側カバー部７０の後端が、外側カバー部６１の後端より僅かに前方に配されている。

【００２６】

図６及び図７に示すように、外側カバー部６１と内側カバー部７０とでは、内側カバー部７０の方が外側カバー部６１よりも凹凸が多く形成されている。また、図９〜図１１に示すように、外側カバー部６１は全体的に比較的平坦になっているのに対し、内側カバー部７０は左方へ膨出すると共に後端部が後方へ向かうにつれて右方へ寄るように傾斜していて、装飾カバー６０の後端部は先窄みになっている。なお、内側カバー部７０の後端部の一部は前後方向に真っ直ぐ延びている。

【００２７】

図８に示すように、装飾カバー６０のうち外側カバー部６１の後端部には、板金からなる固定具６５が取り付けられている。固定具６５は、外側カバー部６１のうち、外側第１構成部６２の上端寄り位置と、外側第２構成部６３の上下方向の中央部と、外側第３構成部６４の下端部と、の３箇所に１０ｃｍ以上間隔を空けて配されている。固定具６５は、前後方向に延びた主板部６５Ａと、主板部６５Ａの後端を左方へ曲げてなるフック部６５Ｂと、を有している。フック部６５Ｂの先端は前方へ折り返された返し部６５Ｃとなっている。

【００２８】

固定具６５は、外側カバー部６１の内面に前後方向にスライド可能に支持されている。固

定具６５の主板部６５Ａの後端部には、上下方向に延びたスリット６５Ｓが２本前後方向で並んで形成されている。外側カバー部６１には、固定具６５のスリット６５Ｓに係合可能な係合突部６６が設けられている。図６に示すように、係合突部６６は、外側カバー部６１の後端部に「コ」の字状のスリット６７により３辺が切り離されて形成された弾性片６８の先端（後側端部）に配され、固定具６５のスリット６５Ｓに係合することで固定具６５を位置決めする。固定具６５は、前側のスリット６５Ｓが係合突部６６と係合する第１位置と、後側のスリット６５Ｓが係合突部６６と係合する第２位置と、に位置決めされる。固定具６５が第２位置に配されているときより第１位置に配されているときの方が、外側カバー部６１の後端から固定具６５のフック部６５Ｂまでの距離が長くなる。

【００２９】
装飾カバー６０は、以下のようにして可動役物ユニット３０に取り付けられる。まず、前面扉１３を開いた状態（左辺部を中心に回動して支持枠１２から離れた状態）にし、装飾カバー６０を固定具６５の前側のスリット６５Ｓが係合突部６６に係合している状態にする。そして、装飾カバー６０のカバー開口６０Ｋに、可動役物ユニット３０の第１可動部材４０の第１及び第２の装飾部４１，４２を通過させ、装飾カバー６０の後端部の開口（外側カバー部６１の後端部と内側カバー部７０の後端部）を広げながらその開口を可動役物ユニット３０の固定ベース３１の外面に宛がい、装飾カバー６０を後方へ押し込んでいく。すると、装飾カバー６０が固定ベース３１を抱え込むようにして後方に進んでいく。

【００３０】
そして、装飾カバー６０の内側カバー部７０の後端面が前面扉１３の透光板１３Ｂに隣接し、装飾カバー６０の外側カバー部６１の後端部が固定ベース３１の後端部に重なると、装飾カバー６０の固定具６５のフック部６５Ｂの全体が、前面扉１３の後端部より後方に際された状態になる。この状態で、固定具６５を前方へスライドさせ、固定具６５のフック部６５Ｂを前面扉１３の右側縁部に係止させる（図１１参照）。その後、前面扉１３を閉じる。これにより装飾カバー６０の取り付けが完了する。

【００３１】
装飾カバー６０が可動役物ユニット３０に取り付けられた状態では、第１可動部材４０の第１及び第２の装飾部４１，４２がカバー開口６０Ｋから突出した状態で、装飾カバー６０が固定ベース３１の外面を覆っている（図３参照）。第１可動部材４０及び第２可動部材５０は、カバー開口６０Ｋを通して進退可能となっていて、第１及び第２の始端位置と第１及び第２の終端位置との間の移動は阻害されない。

【００３２】
装飾カバー６０は、後端部が窄んでいて、固定ベース３１を抱え込むように装着されているので（図１１参照）、前方へ抜けにくくなっている。また、装飾カバー６０は、３つの固定具６５により前面扉１３に係止されている。この固定具６５は、フック部６５Ｂが前面扉１３と支持枠１２とに挟持されて、スライド不能になっている。また、内側カバー部７０の後端は、窓部１３Ｗの透光板１３Ｂに近接している。

【００３３】
また、装飾カバー６０は、外側カバー部６１が着色されている一方、内側カバー部７０が透明になっているので、固定ベース３１本体の右側面の装飾は視認不能となる一方、左側面の装飾は内側カバー部７０を通して視認可能となっている。

【００３４】
このように、本実施形態では、可動役物ユニット３０に装飾カバー６０を取り付けることで、可動役物ユニット３０の印象を容易に変えることが可能である。この装飾カバー６０の装着は、例えば、遊技機１０の遊技盤１１を新規の遊技盤１１に交換する、所謂、「盤替え」の際に行うことが考えられる。即ち、本実施形態によれば、遊技盤１１を交換する盤替えの際に、既存の前面扉１３の可動役物ユニット３０に装飾カバー６０を取り付けることで、外観の印象を変えることができ、費用をかけずに新鮮味を与えることができる。

【００３５】
ここで、装飾カバー６０は、可撓性を有し、抱え込むように取り付けることができるので

取り付け作業が容易である。また、装飾カバー６０は、固定ベース３１を抱え込み、凹凸に沿って取り付けられるのでずれにくくなる。しかも、固定具６５により前面扉１３に係止されるのでより強固に固定される。

【００３６】

この装飾カバー６０にはカバー開口６０Ｋが設けられていて、このカバー開口６０Ｋから第１可動部材４０及び第２可動部材５０が進退可能となっているので、装飾カバー６０により第１可動部材４０及び第２可動部材５０の移動が阻害されることが防がれる。また、移動する又は操作される第１可動部材４０及び第２可動部材５０を有する可動役物ユニット３０に装飾カバー６０が取り付けられることで、注目される部分の印象が変わり、新鮮味が増す。

【００３７】

さらに、内側カバー部７０と外側カバー部６１とは、カバー開口６０Ｋを挟んで下側連結部６０Ａと上側連結部６０Ｂとで連結されているので、装飾カバー６０が撓みやすくなり、装着が容易になる。

【００３８】

ところで、装飾カバー６０は、前面扉１３の外側に装着されているため、盗難に遭うことも考えられる。しかしながら、前面扉１３を閉じた状態では、固定具６５のフック部６５Ｂが前面扉１３と支持枠１２とに挟持されるので固定具６５がスライド不能となり、装飾カバー６０が取り外されることが防がれる。しかも、固定具６５のフック部６５Ｂには返し部６５Ｃが形成されているので、フック部６５Ｂを外方（右方）へ引き抜こうとしても返し部６５Ｃが前面扉１３の右縁部に当接して引き抜きを防止する。また、固定具６５付近に手をかけ、フック部６５Ｂをねじ曲げるようにして引き抜いて装飾カバー６０が外されることも考えられるが、本実施形態では、３つの固定具６５が上下方向の３箇所（上端部、中間部、下端部）に分散配置されているので、全ての固定具６５を一人で同時に引き抜くことは難しく、装飾カバー６０が外されることが防がれる。

【００３９】

また、内側カバー部７０の後端部が前面扉１３の窓部１３Ｗの透光板１３Ｂに近接しているので、内側カバー部７０の後端部と透光板１３Ｂとの間に指をかけることが難しく、こちらから装飾カバー６０をはぎ取ることも困難である。しかも、内側カバー部７０の後端部は、内側に膨出していて内側カバー部７０の後端が外側（固定ベース３１側）へ寄っているので、内側カバー部７０の後端が内側を向いている場合よりも、内側カバー部７０の後端部と透光板１３Ｂとの間に指をかけることがさらに難しくなる。

【００４０】

また、本実施形態の装飾カバー６０は、外側カバー部６１が着色されている一方、内側カバー部７０が透明になっているので、固定ベース３１本体の右側面の装飾は視認不能となる一方、左側面の装飾は内側カバー部７０を通して視認可能となっている。つまり、装飾カバー６０は、固定ベース３１の一部の装飾（左側面の装飾）を流用しつつ他の部分（右側面）の見た目を変えている。

【００４１】

［他の実施形態］

（１）固定具６５は２つであってもよい。この場合でも、１つよりは取り外し作業が困難になる。

【００４２】

（２）上記実施形態では、装飾カバー６０が遊技機１０の外側（前面扉１３の外側）に装着されていたが、遊技機１０の内側（例えば、遊技盤１１に設けられた装飾部材等）に装着される構成であってもよい。

【００４３】

（３）上記実施形態では、外側カバー部６１が着色されている一方、内側カバー部７０が透明になっていたが、逆であってもよいし、外側カバー部６１と内側カバー部７０とが共に着色されていたり、透明であってもよい。

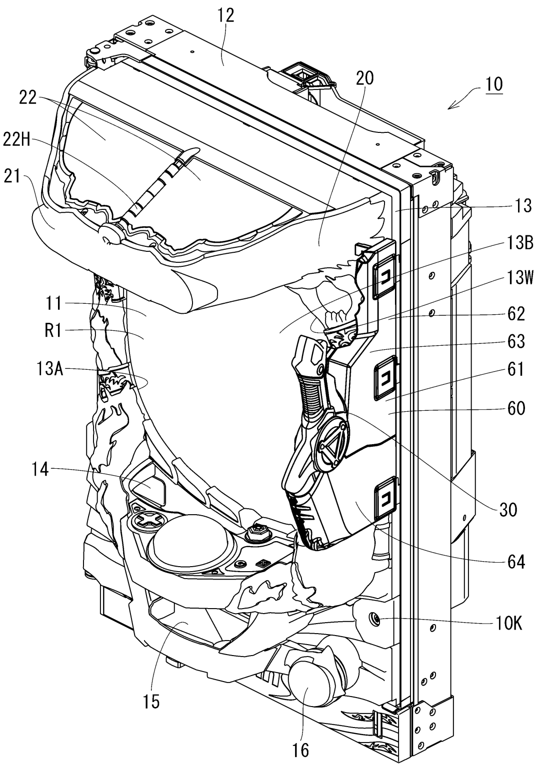
【００４４】
＜付記＞
上記実施形態で例示した遊技機には、以下の第１～第３の発明群が含まれていると考えることができる。
【００４５】
（第１の発明群）
［発明１］
ベース部から突出する装飾突出部を備える遊技機であって、
前記装飾突出部の外面の少なくとも一部を覆う装飾カバーを備え、
前記装飾カバーは、前記装飾突出部を第１方向の一方側から覆う第１カバー部と、前記装飾突出部を前記第１方向の他方側から覆う第２カバー部と、前記第１カバー部と前記第２カバー部とを前記ベース部の反対側で連絡する連絡部と、前記第１カバー部の前記ベース部側端部と前記第２カバー部の前記ベース部側端部との間に設けられた取り付け口と、を有し、
前記装飾カバーは、前記取り付け口が窄んでいて、前記ベース部の反対側から前記ベース部に向けて押し込まれ、弾性変形しながら前記装飾突出部を抱え込むように取り付けられる遊技機。
［発明２］
前記第１カバー部と前記第２カバー部とは別部品であり、それらが前記連結部において連結されている発明１に記載の遊技機。
［発明３］
前記第１カバー部と前記第２カバー部との間は、第１の前記連絡部と、前記第１の連絡部との間に開口部を挟んで配された第２の前記連絡部と、により連絡されている発明１又は２に記載の遊技機。
［発明４］
前記装飾突出部には可動部材が設けられ、
前記可動部材は、前記開口部に対して進退移動可能になっている発明３に記載の遊技機。
［発明５］
前記第１カバー部と前記第２カバー部との一方は、前記第１カバー部と前記第２カバー部との他方よりも凹凸が少なくなっている発明１から４の何れか１の発明に記載の遊技機。
［発明６］
前記ベース部は、遊技領域を視認可能な透明部材からなる窓部を有する前面扉本体であり、
前記装飾突出部は、前記前面扉本体のうち前記窓部より外側の側縁部から突出し、
前記装飾カバーにおける前記第１カバー部の前記取り付け口側端部は、前記前面扉の外縁部に配され、前記第２カバー部の前記取り付け口側端部は、前記前面扉本体の前記窓部に近接する位置に配される発明１から４の何れか１の発明に記載の遊技機。
［発明７］
前記装飾カバーにおける前記第２カバー部の前記取り付け口側端部は、前記遊技領域の前面に沿った内外方向の内側へ膨出した膨出部を有する発明１から５の何れか１の発明に記載の遊技機。
【００４６】
（第２の発明群）
［発明１］
ベース部から突出する装飾突出部を備える遊技機であって、
前記装飾突出部の外面の少なくとも一部を覆う装飾カバーを備え、
前記装飾カバーは、一部が透過性を有する透過部となっていて、前記装飾突出部の一部が前記透過部を通して視認可能となっている遊技機。
［発明２］
ベース部は、遊技領域を視認可能な透明部材からなる窓部を有する前面扉本体であり、

前記装飾突出部は、前記前面扉本体のうち前記窓部より外側の側縁部から突出し、
前記透過部は前記遊技領域の前面に沿った内外方向の内側の側面に配され、外側の側面は着色されている発明１に記載の遊技機。
［発明３］
前記装飾カバーには開口部が設けられ、
前記開口部から前記装飾突出部の一部が露出している発明１又は２に記載の遊技機。
［発明４］
前記装飾突出部には可動部材が設けられ、
前記可動部材は、前記開口部に対して進退移動可能になっている発明３に記載の遊技機。
［発明５］
前記可動部材は、遊技者により操作可能に構成されている発明４に記載の遊技機。
【００４７】
（第３の発明群）
［発明１］
前面に遊技領域を有する遊技盤を支持する支持枠と、前記支持枠の前面を覆う前面扉と、を備え、
前記前面扉に前方へ突出した装飾突出部が設けられた遊技機において、
前記装飾突出部に装着される装飾カバーを備え、
前記装飾カバーは、前記装飾突出部に装着された状態で、前記前面扉の外縁部に係止され、前記前面扉と前記支持枠との間に挟まれる固定具を複数有する遊技機
［発明２］
前記固定具は前後方向でスライド可能であり、前記前面扉の外縁部に係止する第１位置と、前記第２位置より後方で前記前面扉の外縁部に係止しない第２位置と、に配置可能である発明２に記載の遊技機。
［発明３］
前記固定具は、前記前面扉の外側面に沿って延びる主板部と、前記主板部の後端に配され、前記前面扉の外縁部に係止するフック部と、を備え、
前記フック部は、前記前面扉の外縁部に内側から対向する返し部を有する発明１又は２に記載の遊技機。
［発明４］
前記前面扉は一側辺が前記支持枠にヒンジ結合されていて、前記装飾突出部は、前記前面扉のうち前記一側辺と反対側の側辺に配される発明１から３の何れか１の発明に記載の遊技機。
［発明５］
前記固定具は、互いに１０ｃｍ以上離れた３位置に配されている発明１から４の何れか１の発明に記載の遊技機。
【符号の説明】
【００４８】
１０　遊技機
１１　遊技盤
１２　支持枠
１３　前面扉
１３Ｗ　窓部
１４　上皿
１５　下皿
３０　可動役物ユニット
３１　固定ベース
４０　第１可動部材
５０　第２可動部材
６０　装飾カバー

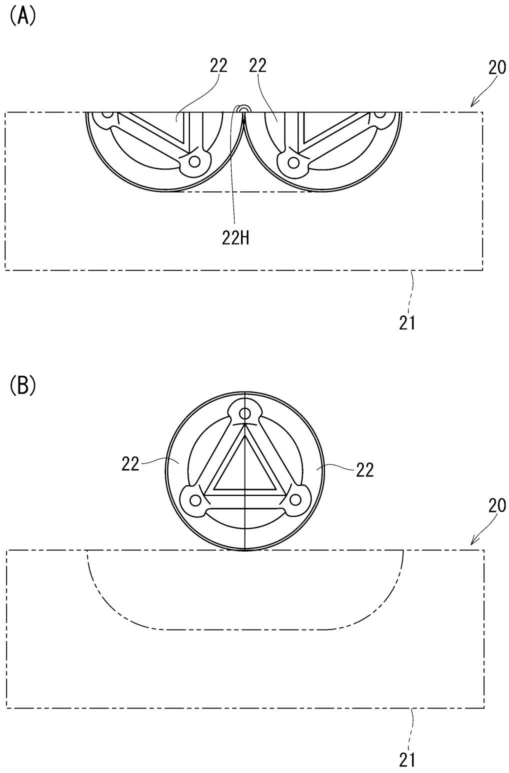
６０Ａ　　下側連結部
６０Ｂ　　上側連結部
６０Ｋ　　カバー開口
６１　　外側カバー部
６５　　固定具
６５Ａ　　主板部
６５Ｂ　　フック部
６５Ｃ　　返し部
７０　　内側カバー部

【図面】

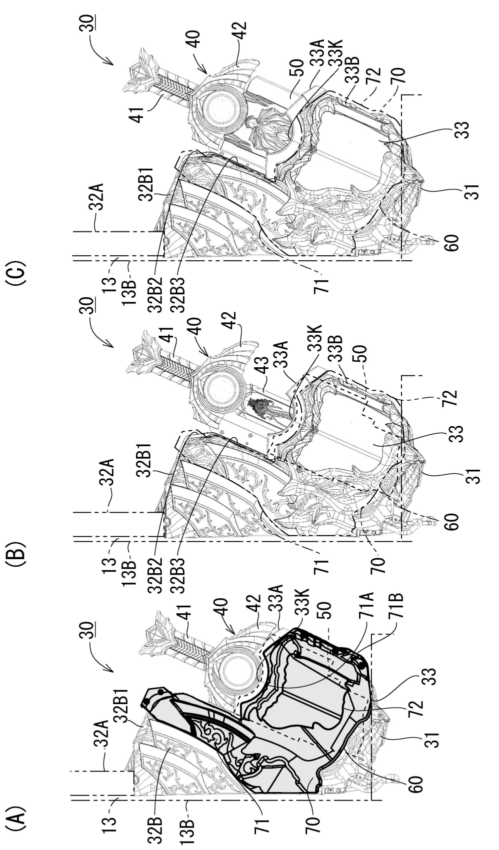
【図１】



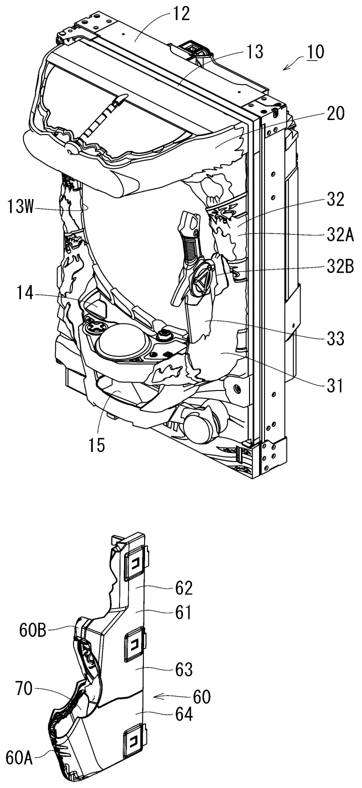
【図２】



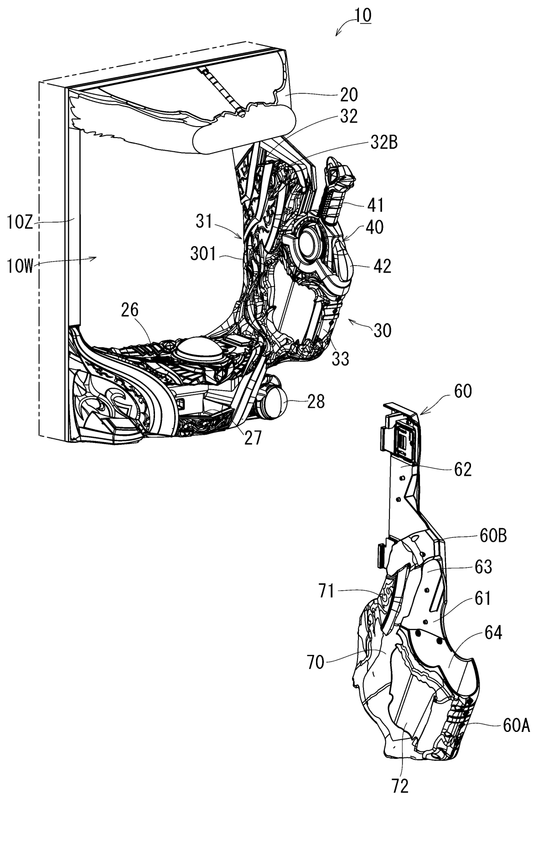
【図３】


(C)
30
40
42
41
50
33A
33K
33B
72
70
33
31
32A
32B1
60
13
13B
32B2
32B3
71
(B)
30
41
40
42
43
33A
33K
33B
50
72
33
31
32A
32B1
60
13
13B
32B2
32B3
71
70
(A)
30
41
40
42
33A
33K
50
71A
71B
33
72
31
32A
32B1
60
13
32B
13B
71
70

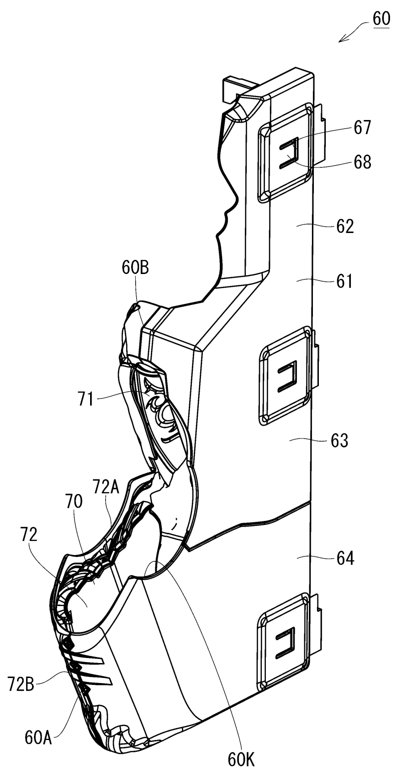
【図４】


12
13
10
20
13W
32
32A
32B
14
33
31
15
62
61
60B
63
70
60
64
60A

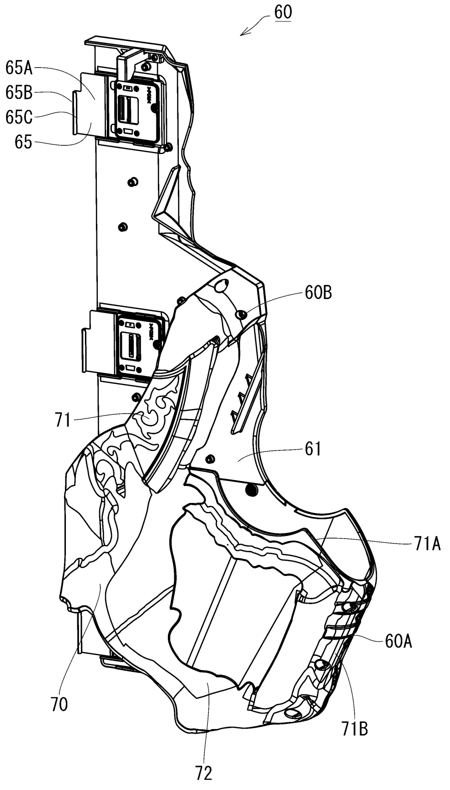
【図５】


10
20
32
32B
41
10Z
31
40
10W
301
42
30
26
33
28
27
60
62
60B
63
71
61
64
70
60A
72

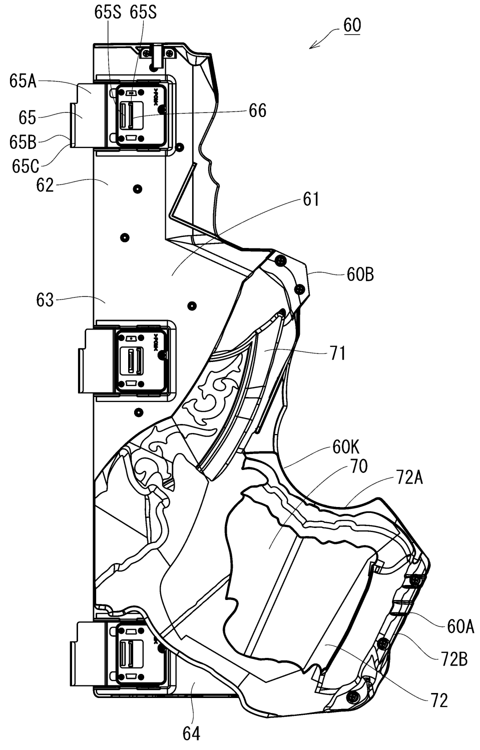
【図６】


60
67
68
62
61
60B
71
63
72A
70
72
64
72B
60A
60K

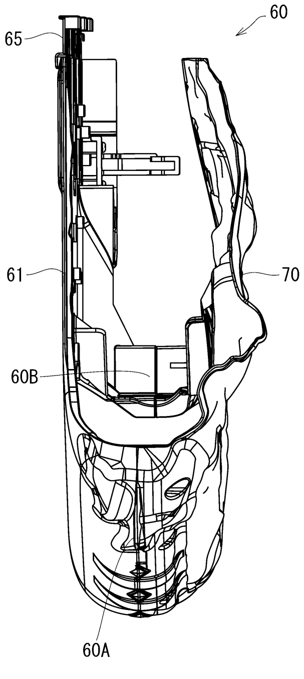
【図７】


60
65A
65B
65C
65
60B
71
61
71A
60A
70
71B
72

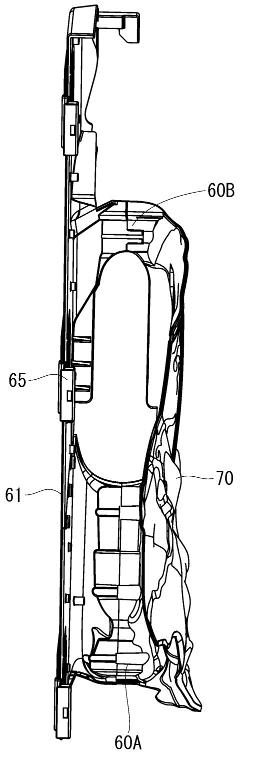
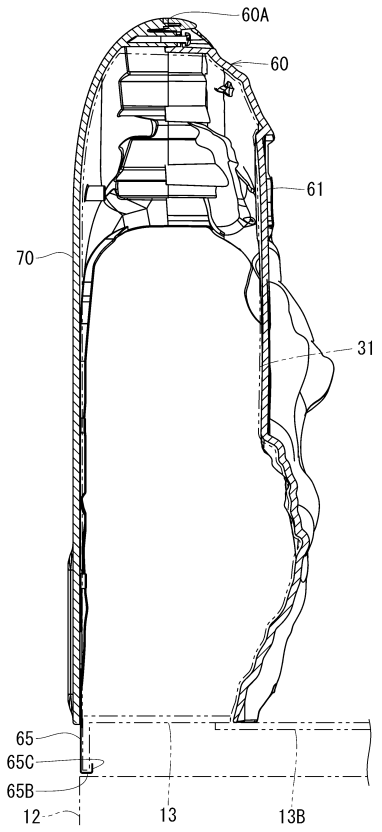
【図８】


65S 65S
60
65A
65
66
65B
65C
62
61
60B
63
71
60K
70
72A
60A
72B
72
64

【図９】


60
65
61
70
60B
60A

【図１０】


60B
65
70
61
60A

【図１１】